

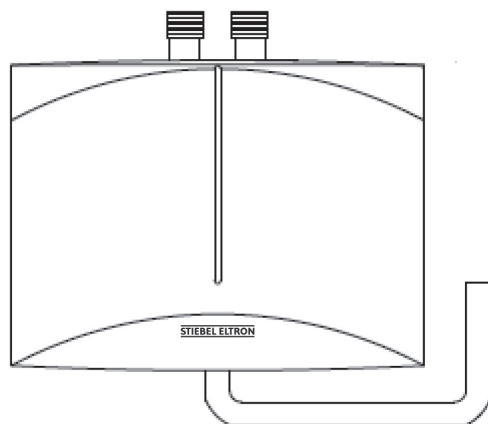
STIEBEL ELTRON

瞬間式電気温水器

取扱説明書

(取付説明書、保証書付)

型 名…… ●DEM-3シリーズ



お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前にP. 1「1. 安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができるところに保管してください。

日本スティーベル株式会社

[目次]

●取扱説明書

1. 安全上のご注意	1
2. 特長	3
3. 各部のなまえ	3
4. ご使用方法	4
4-1. 機器を使用する場合の手順	4
4-2. 機器の使用を停止する場合の手順	4
5. 日常の点検とお手入れ	5
6. 故障かな?と思ったら	5
7. 点検及び修理について	6
8. 仕様	7

●取付説明書

1. 安全上のご注意	9
2. 外形寸法と付属部品	12
2-1. 外形寸法と配線図	12
2-2. 付属部品	13
3. 事前工事	14
4. 機器の設置工事	15
4-1. 機器の固定と設定	15
4-1-1. 電源ケーブル背面出しの場合	15
4-1-2. 電源ケーブル下側出しの場合	17
4-2. 配管接続	18
4-3. エアレーターの取り付け	18
4-4. 電源ケーブル接続	18
5. 試運転	19
保証書	21

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---	-------------------------------------	---	--------------------------------------

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止マーク	してはいけないことを示します。
 注意マーク	注意することを示します。
 指示マーク	必ず行なうことを示します。

警告

禁止



絶対に改造しないでください。



電源ケーブルの破損や、異常を確認した場合は、速やかに日本スティーベル(株)にお問い合わせください。



前面パネルを外さないでください。



機器に取り付けられている配管は、絶対に取り外さないでください。



機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により、濡れてしまった場合は、使用しないでください。



濡れた手で機器に触れないでください。



機器の近くでの油の取り扱い、ガス類等の可燃性物質や、爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。



水道法の水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。



機器を正常に動作させるために、離隔距離の範囲内に物を置かないでください。
(離隔距離は、壁紙や棚等の品質を保証する距離ではありません。)

	接続口面	接続口無面	側面	前面
離隔距離	≥50mm	≥30mm	≥70mm	≥500mm

注意



使い始めや、出湯時に瞬間的に熱湯が出る場合があります。

！ 指示

！ 機器に異常が発生した場合は、機器のブレーカを「切」(OFF)にして日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

！ アース工事、漏電遮断機設置工事が適正に行なわれていることを確かめてください。

！ 漏電遮断機が働いた場合は、機器の使用を停止して日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

！ 機器がしっかりと壁面に固定されていることを確かめてください。

！ 機器は、必ず定期的に点検(P. 5「5. 日常の点検とお手入れ」参照)をしてください。

！ 震災等で万が一落下した場合は、下記の各項目を実施の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

①機器のブレーカを「切」(OFF)にしてください。

②建物が揺れている間や、機器が傾いている間は機器に近づかないでください。

③機器の上に落下物がある場合は、取り除いてください。

④水道の元栓を止めてください。

！ 子供や身体に障害がある人が操作する場合は、監督者の管理のもと、または安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。

！ 注意

禁止

！ 機器の上に物を置いたり、物を貼ったり、機器に荷重を掛けたりしないでください。

！ 機器と壁の間に物を挟まないでください。

！ 給水の元栓が「閉」の状態では、機器のブレーカを「入」(ON)にしないでください。

！ 給湯中、またはその直後は、配管部分が高温になっておりますので直接触れないでください。

！ 機器や配管に長時間溜まった水や、朝一番のお湯は、飲んだり調理に使用したりしないでください。(雑用水としてご使用ください。)

！ 指示

！ 長期間使用しない場合や、凍結の恐れがある場合は、事前に水抜きをしてください。

！ 給水の元栓を開いた直後は、機器のブレーカを「入」(ON)にする前に、60秒以上気泡が消えるまで蛇口を開いて水を流してください。

！ 断水直後等で給水が濁っている間は、使用を控えてください。

！ 給水温度は、50℃未満としてください。

！ 定期的に給水接続口の清掃を依頼してください。

- ❗ 機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ、保管できるようにしてください。
- ❗ 本取扱説明書に付属している保証書に所定の事項が記入され、捺印があることを確認してください。
- ❗ 機器の修理をご依頼の際は、必ず本取扱説明書に付属している保証書を修理業者にご提示ください。
- ❗ 機器の設置、並びに移設を行なう場合は、必ず専門業者に依頼して行なってください。

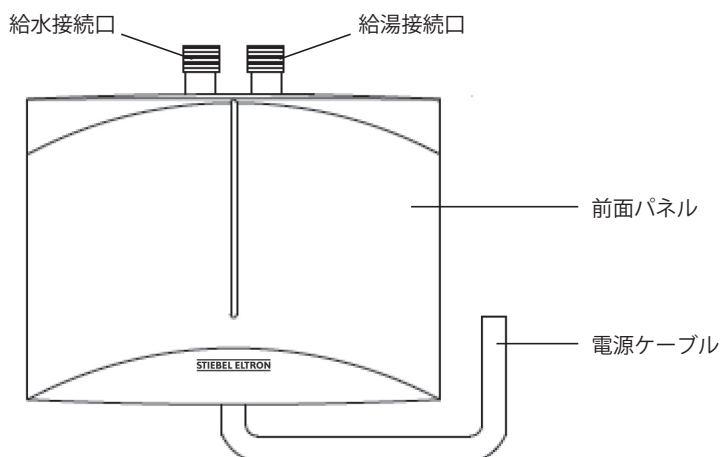
2. 特長

DEM-3（以下では、「機器」と記述します。）は、単相200Vの壁掛け型瞬間式電気温水器です。水栓のお湯側を開けると自動的にヒーターに通電しお湯を出すため、必要な時に必要な量の温水を最低限の電力でご使用いただけます。貯湯タンクが無いため、貯湯水の温度を維持する電力が不要な省電力機器、かつ貯湯型のようなお湯切れの心配がない機器です。

機器のベアワイヤーシステムはスケール等の影響が少ないので硬水にも軟水にも適しています。また、機器の損傷を防ぐ安全装置により機器が保護されています。

なお、瞬間式の為、吐出される温水、または水は飲用や調理用に使えます。

3. 各部のなまえ



MEMO

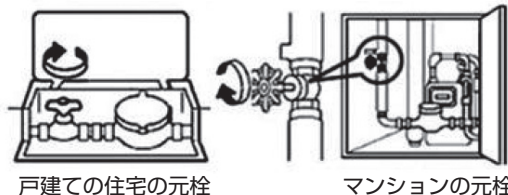
- 上図と上下が逆さに設置されている場合もありますが異常ではありません。配管の取り回しの関係でそのような設置されている場合があります。

4. ご使用方法

4-1. 機器を使用する場合の手順

①給水の元栓を「開」にします。

元栓例（現場により異なる場合があります。）



②機器のブレーカが「切」(OFF)の状態、機器が接続してある水栓のお湯側の蛇口を開き、60秒以上気泡が消えるまで水を流します。



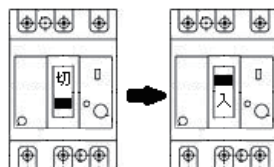
おねがい

- 給水の元栓を「閉」にした場合や、断水等、機器への給水が一時的に停止した後は、必ず②項を実施してください。

③機器のブレーカを「入」(ON)にします。

MEMO

- 機器のブレーカの設置場所等は、工事業者にご確認ください。



④水栓のお湯側の蛇口を開くことで、お湯が使用できます。

MEMO

- 給湯温度上限設定（初期値38℃）を変更したい場合は、工事業者にご相談ください。

4-2. 機器の使用を停止する場合の手順

①機器のブレーカを「切」(OFF)にします。

②給水の元栓を「閉」にします。

③機器を接続している水栓のお湯側の蛇口を開き、水が出ないことを確認します。

5. 日常の点検とお手入れ

製品寿命は水質と使用方法に左右されます。機器のメンテナンスはとくには必要としませんが、以下の点検とお手入れをお勧め致します。

①外装の汚れは乾いた布で拭き取ります。



●研磨材や、洗剤等は使用しないでください。

②機器に水濡れ等が無いことを確認します。

③給水の元栓が「開」であることを確認します。

④③の状態では機器のブレーカが「入」(ON)であることを確認します。



●定期的に機器の電気部品の安全性、給水接続口の清掃、機器のブレーカが正常に動作するかの確認を工事業者に依頼してください。

6. 故障かな?と思ったら

下記の現象がみられる場合は、初めに機器のブレーカを「切」(OFF)にし、再度機器のブレーカを「入」(ON)にした後に下記の確認項目について処置内容を実施してください。

現 象	確認項目	処置内容	参照ページ
お湯が出ない	水栓	水栓のお湯側の水栓のみ開けてください。	——
		吐水口を清掃してください。	——
	ブレーカ	ブレーカを「入」(ON)にしてください。	——
	元栓	元栓が開いていることを確認してください。	——
ブレーカが落ちる	ブレーカ	ただちに使用を停止して工事業者にご連絡ください。	——
使用したい温度に達しない	機器	電圧降下等による電圧変動、使用流量、給水温度等により給湯温度上限設定を下回る場合があります。	P. 7 8
	設定	工事業者に給湯温度上限設定の変更を依頼してください。	——
水が漏れている	機器周辺	機器から水が漏れている場合は日本スティーベル(株)にお問い合わせください。	P. 6 7
	水栓／配管	機器以外から水が漏れている場合は工事業者にご連絡ください。	——
異音	機器	お湯を出している場合は若干の音が発生しますが正常です。 お湯を出していない場合は、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。	P. 6 7

上記で改善しない場合は、再度機器のブレーカを「入」(ON)／「切」(OFF)して状態が改善しないことを確認の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

7. 点検及び修理について

(1) アフターサービス(点検／修理)を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、この取扱説明書のP. 5「6. 故障かな?と思ったら」をよくお読みの上、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理なさらないで下記のQRコードから日本スティーベル(株)のHPのお問合せフォーム等からご相談ください。



TEL:03-5715-4655

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧の上、次の項目をお知らせください。

- ①型 名 : 保証書、または銘板ラベルに併記
- ②製造番号 : 保証書、または銘板ラベルに併記
- ③不具合の具体的内容 : お湯が出ないなどの症状、及びご使用条件
- ④お取付け年月日 :
- ⑤お名前、ご住所、電話番号 :

(2) 補修用部品の最低保有期間について

この機器の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

(3) 保証について

この機器は、お取り付け日から1年保証です。

保証書は、お取扱店、または施工店からお渡し致しますので、必ず「お取扱店」、「お取り付け日」、「製造番号」等の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上で保管してください。

修理を依頼される場合は、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。保証期間内であれば、消耗品を除き、保証書の記載内容に基づき無料修理を行ないます。保証期間を過ぎても修理により機器の機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理致します。



- お客様ご自身で分解、改造した場合は、保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので予めご了承ください。
- 電気の配線工事、水道の配管工事、機器の設置工事に起因する問題に関しては、機器の保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので予めご了承ください。

8. 仕様

型 名		DEM-3
定格電圧	V	200
周波数	Hz	50/60
消費電力 * 1	kW	2.7
定格電流 * 1	A	13.5
水の体積抵抗率 * 2	Ωcm	≥ 1000
水の電気伝導率 * 2	μS/cm	≤ 1000
給水/給湯接続口 * 3		G3/8
最大圧力	MPa	1.0
最低必要水圧 流動時	MPa	0.2 * 4
最高使用圧力 静止時	MPa	0.5
最高給水温度	℃	50
給湯温度上限設定	℃	30-50 * 5
最小流量	L/min	1.5 * 4
最大流量制限	L/min	2.0
号数 * 6		1.5相当
感電保護クラス		I
ヒーターエレメント		ヘアワイヤー
I P保護等級		I P25
外径寸法 (mm)	高さ	143
	幅	190
	奥行き	82
質量 (満水時)	Kg	1.5 (1.6)

* 1 : 定格電圧許容範囲 : + 7 % - 1 0 %

* 2 : 条件 水温 1 5℃以上、2 5℃以下の場合

* 3 : 付属の3/8 - 1/2変換アダプターを使用しない場合の接続口

* 4 : 最低必要水圧 (流動時)、並びに最小流量以下では動作しません。

* 5 : 電圧降下等による電圧変動、使用流量、給水温度等により給湯温度上限設定を下回る場合があります。

* 6 : 号数とは給水温度を+ 2 5℃温めたお湯を1 分間に何リットル供給できるかを表示しています。

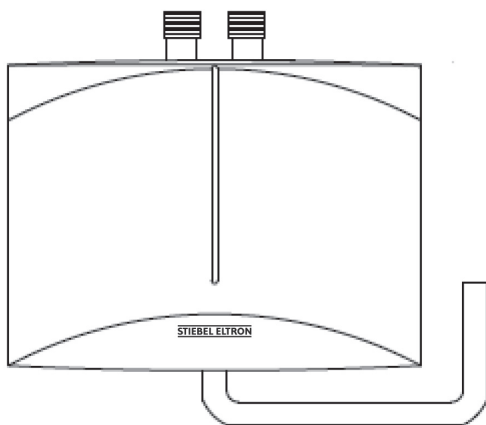
単位 (L/2 5℃min)

給湯温度目安

給水流量 (L/min)		給水温度 (℃)			
		10	14	18	22
1.5	給湯温度 (℃)	35	39	43	47
1.9		30	34	38	42
2.0		29	33	37	41

瞬間式電気温水器 取付説明書

型 名…… ●DEM-3シリーズ



取付工事店様へ

- この機器は電気工事、水道配管工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。
- この機器を正しく安全にお客様にご使用いただくために取扱説明書、並びに取付説明書P. 9「1. 安全上のご注意」をよくお読みの上、取付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願い致します。

日本スティーベル株式会社

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---	-------------------------------------	---	--------------------------------------

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止マーク	してはいけないことを示します。
 注意マーク	注意することを示します。
 指示マーク	必ず行なうことを示します。

警告

禁止



絶対に改造しないでください。



電源ケーブルの破損や、異常を確認した場合は、速やかに日本スティーベル(株)にお問い合わせください。



取外しの指定がない部品は取り外さないでください。また、指定されている付属部品以外は使用しないでください。



電源は単相200V以外を供給しないでください。



機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。



屋外や湿気の多い場所、浴室内には設置しないでください。また、機器に水がかからないようにしてください。



機器は凍結の危険がある場所には設置しないでください。



濡れた手で機器に触れないでください。



機器は不燃材以外の壁に設置しないでください。



機器の近くでの油の取り扱い、ガス類等の可燃性物質や、爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。



水道法の水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。



電気工事、及び配管工事は資格を持った作業員以外は行なわないでください。

！ 指示

- ！ 内線規程に基づいて電気工事を実施してください。
- ！ 機器のヒーター容量に適したブレーカ、及び漏電遮断機を設置してください。
- ！ D種接地工事、漏電遮断機設置工事が適切に行なわれていることを確かめてください。
- ！ 過電圧カテゴリⅢに対応するため、2芯の電源ケーブル全てを確実に遮断するブレーカを配線規則に従って使用してください。
- ！ 屋内配線と電源ケーブルを接続する際は、配線サイズに適した燃線用スリーブを使用してください。
- ！ 鉄等の導電性の高い架台に機器を固定する場合は、機器を固定する架台にも接地工事をしてください。
- ！ 漏電遮断機が動いた場合は、機器の使用を停止して日本スティーベル(株)にお問い合わせください。
- ！ 電気伝導率が $\leq 1000 \mu S/cm$ 、または体積抵抗率 $\geq 1000 \Omega cm$ (水温 $15^{\circ}C$ 以上、 $25^{\circ}C$ 以下の場合)の水道水を使用してください。
- ！ 電源電圧は、定格電圧の $+7\% - 10\%$ 以内であることを確認してください。
- ！ 機器は給水／給湯接続口面が上、または下に向けた状態で設置し、機器の満水時の質量に耐えられる補強を行なった壁に対して平行に設置してください。
- ！ 機器を正常に動作させるために、離隔距離の範囲内に物を置かないでください。
(離隔距離は、壁紙や棚等の品質を保証する距離ではありません。)

	接続口面	接続口無面	側面	前面
離隔距離	$\geq 50mm$	$\geq 30mm$	$\geq 70mm$	$\geq 500mm$

- ！ 設置地域の火災予防条例に則した離隔距離を取ってください。
- ！ 機器に異常が発生した場合は、お客様に引き渡さず日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

⚠ 注意

⊘ 禁止

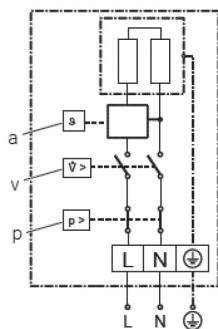
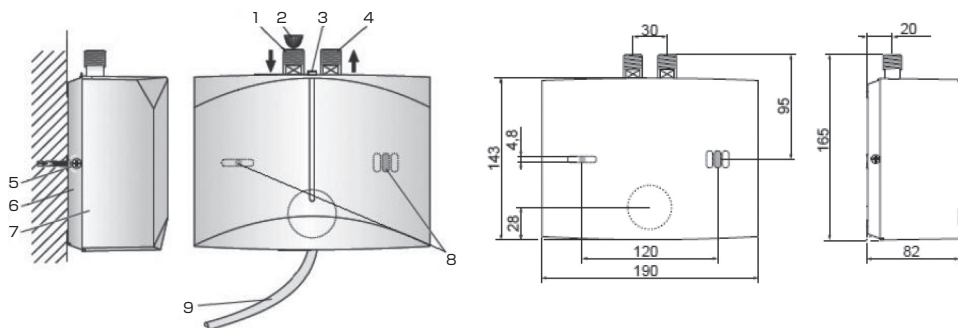
- ⊘ 設置前の機器は雨水がかかる場所や、雪上、氷上には置かないでください。
- ⊘ 機器に接続してある配管や、電気部品を外したりしないでください。また、機器の電気部品(交換用電気部品)を他の電気機器に接続しないでください。
- ⊘ 給水／給湯接続口に衝撃を加えないようにしてください。
- ⊘ 機器の上に物を置いたり、物を貼ったり、機器に荷重をかけないでください。
- ⊘ 給水の元栓を「閉」の状態では機器のブレーカを「入」(ON)にしないでください。

！ 指示

- ！ 機器は最低必要圧力（流動時）以上の水圧と、最小流量以上の流量が確保できる水栓に接続してください。
- ！ 給水配管接続は、銅管、PEXチューブ、ブレードホース等を使用してください。
- ！ 水の凍結が予想される場所では、凍結防止処理を施してください。
- ！ 試運転の際は、給水の元栓を開いた後に機器のブレーカを「入」（ON）にする前に、60秒以上気泡が消えるまで蛇口を開いて水を流してください。
- ！ 機器を設置する場所の床面は防水処理を施してください。
- ！ 設置作業後は、異物が混入しないように前面パネルを取り付けてください。
- ！ クロス貼りの際は、機器に糊が付着しないように前面パネルの上からもしっかりと養生を行なってください。
- ！ 電源ケーブルを機器の下側から引き出す場合は、必ず前面パネルの所定の位置を切り欠いてください。
- ！ 取扱説明書の保証書に、お客様、お取扱い店、お取付け日、製造番号等との必要事項を必ず記入し、お取扱い店、及び取扱者印を捺印してください。
- ！ 工事終了後は、必ずお客様に取扱いの説明を行なってください。直接説明できない場合は、現場責任者等の代行者に説明し、必ずお客様に取扱いの説明がなされるようにしてください。
- ！ 取扱説明書は、お客様に必ず保管いただくようにお渡しください。

2. 外形寸法と付属部品

2-1. 外形寸法と配線図



- 1 : 給水接続口
- 2 : ストレーナー
- 3 : ヒーティングブロック用ストッパー
- 4 : 給湯接続口
- 5 : 前面パネル固定ネジ (左右各1本)
- 6 : 壁固定プレート
- 7 : 前面パネル
- 8 : 壁固定ネジ穴
- 9 : 電源ケーブル (750mm)
- L : 茶色ケーブル
- N : 青色ケーブル
- p : 圧力スイッチ
- v : フロースイッチ
- a : 給湯温度センサー

2-2. 付属部品

- ①機器の梱包を開梱し、機器の裏に下表の部品があることを確認します。
- ②取扱取付説明書は、機器の前面パネルの前にあります。

付属部品一覧

部品名称	数量	備考	適用
機器	1	図-1	標準同梱
エアレーター	1	図-2	標準同梱
取扱取付説明書	1	図-3	標準同梱
3/8-1/2変換アダプター	2	図-4	標準同梱
パッキン 14.5×7.5×1.5	2	図-5	標準同梱

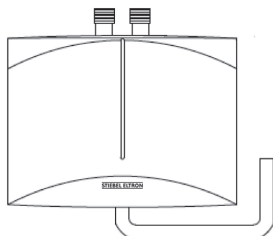


図-1

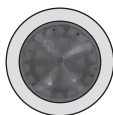


図-2



図-3

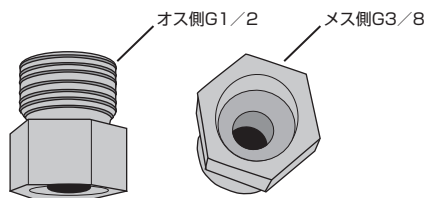


図-4



図-5

3. 事前工事

①設置場所では結露が生じないことを確認します。

②G 1 / 2 の給水配管、給湯配管を機器の設置位置のそれぞれの接続口位置に合わせて配管しておきます。

MEMO

●出荷時点では上側が接続口面になるように機器の前面パネルにロゴシールが貼られています。

③機器と不燃材間の離隔距離が確保できることを確認します。

	接続口面	接続口無面	側面	前面
離隔距離	≥50mm	≥30mm	≥70mm	≥500mm

④機器に適した容量の漏電遮断機の設置、電源ケーブル／D種接地のアース線を配線します。

型名	定格電圧	消費出力	定格電流
DEM-3	単相200V 50/60Hz	2.7kW	13.5A

おねがい

●機器の漏電遮断機の容量、電源ケーブルのサイズは、必ず使用する消費電力、定格電流に合わせてください。

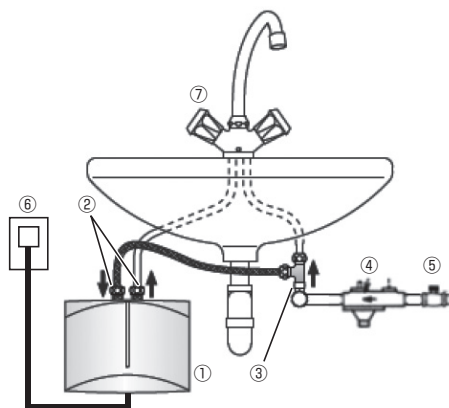
⑤機器の給水接続口の前には、必要に応じて逆止弁、減圧弁、止水弁を設置します。

⑥機器専用のジョイントボックスは漏水等の影響を受けないよう機器下部より高い位置に設置してください。

ご注意

●自動混合水栓の機種によっては取り付けできない場合がございます。

●水栓の形状によっては、エアレーターを取り付けできない場合がありますので、吐出口の形状を確認してください。



設置事例

- ①：機器
- ②：3/8-1/2 変換アダプター
- ③：給水用チーズ
- ④：逆止減圧弁
- ⑤：止水栓
- ⑥：ジョイントボックス
- ⑦：混合水栓



シャワーノズル



センサーつき



先端が四角い蛇口



先端が円の蛇口

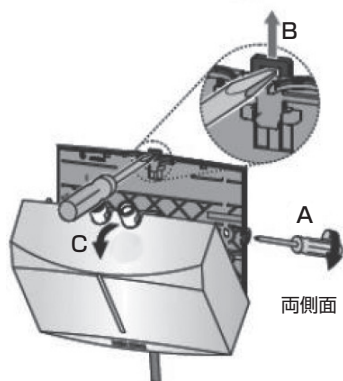
エアレーターを取り付けられない例

4. 機器の設置工事

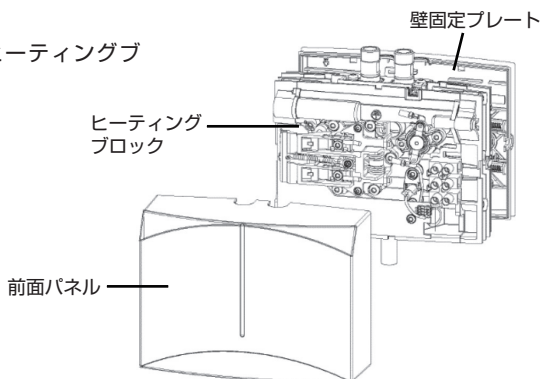
4-1. 機器の固定と設定

4-1-1. 電源ケーブル背面出しの場合

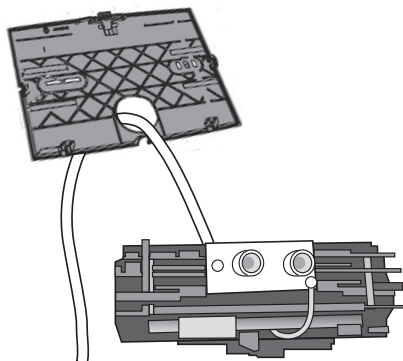
- ①両側面中央のネジ「A」を反時計回りに回して外し前面パネルを手前に引いて外します。
- ②配管接続口面のストッパー「B」をマイナスドライバーで引き上げます。



- ③②の状態のまま、壁固定プレートからヒーティングブロックロックを手前に引いて外します。



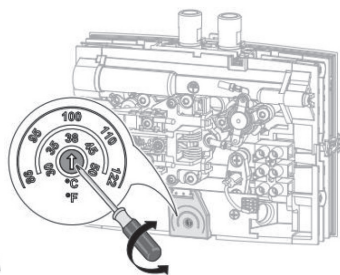
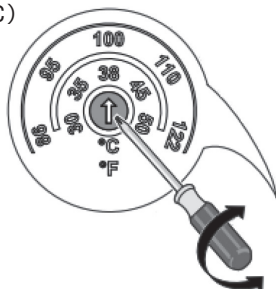
- ④壁固定プレートから電源ケーブルを引き抜きます。



- ⑤ヒータングブロック下部の基板上的ダイヤルを回して、給湯温度上限設定を30℃～50℃の幅で設定します。(初期設定は38℃)

 MEMO

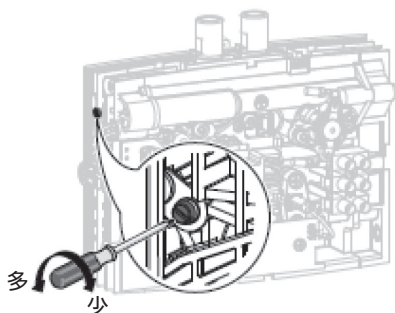
- 給水温度によっては、常時、給湯温度上限設定未満での給湯となります。



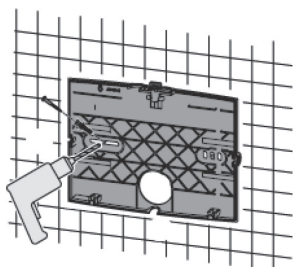
- ⑥ネジを回して流量を調節します。

 MEMO

- 流量を少なくしたい場合は時計回りに回します。
 - 流量を多くしたい場合は反時計回りに回します。
- (初期設定は流量最大)

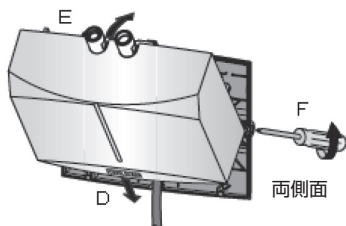


- ⑦壁固定プレートの中央の穴で壁固定プレートを壁面にネジで固定します。



- ⑧逆手順でヒータングブロック用ストッパー「B」をマイナスドライバーで引き上げつつ、ヒータングブロック下部を壁固定プレート下部の所定の位置に差し込んでからヒータングブロックと壁固定プレートを固定します。

- ⑨前面パネルを取り付け、機器両側面のネジ「F」を時計回りで締めて前面パネルを固定します。

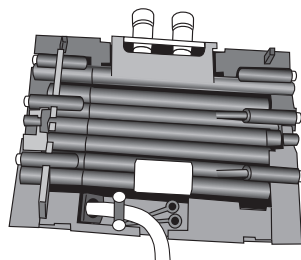


4-1-2. 電源ケーブル下側出しの場合

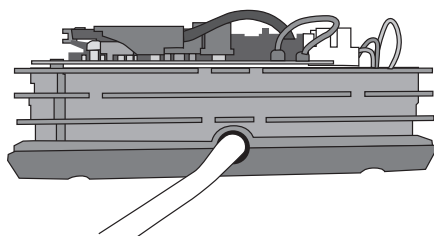
MEMO

- 電源ケーブルを背面側ではなく下側から引き出したい場合は下記の作業を行ないます。

- ①ヒータングブロック背面の電源ケーブルを下側の溝に合わせます。



- ②①の状態ヒータングブロックに壁固定プレートを固定します。

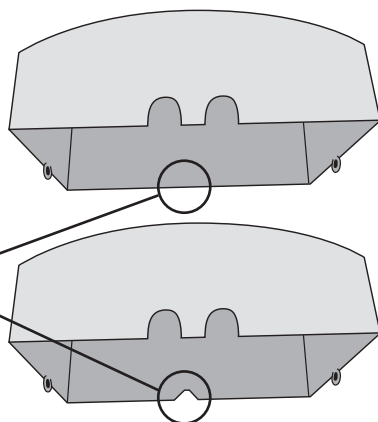


- ③前面パネル下部の溝の部分を切り欠いてからヒータングブロックに前面パネルを固定します。

ご注意

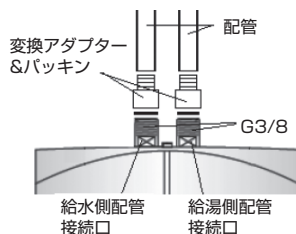
- 上記の作業を行なわないまま前面パネルをヒータングブロックに固定すると、電源ケーブルを潰す形となり時間の経過とともに漏電やショートを起こす可能性があります。

切り欠き位置



4-2. 配管接続

- ①接続口面が上になるように設置した場合は、左上側が給水接続口、右上側が給湯接続口になります。
- ②給水接続口のストレーナーにごみ等が付着している場合は取り除きます。
- ③給水接続口と給湯接続口は「変換アダプター」付属のパッキンを介して、「変換アダプター」に接続します。
- ④「変換アダプター」の1／2側ネジにシールテープを巻くか、パッキンを挟み給水、または給湯配管に接続します。
- ⑤全ての配管接続部分で、水漏れ等がないことを確認します。



MEMO

- 現地で用意していただいた部品が起因となる不具合は、その部品メーカーに確認をしてください。

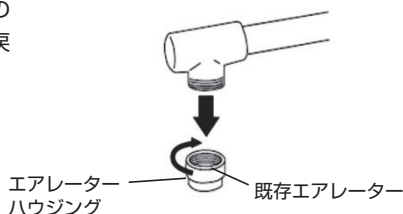
4-3. エアレーターの取り付け

- ①水栓吐出口のエアレーターハウジングを取り外し、付属のエアレーターに入れ替え後、エアレーターハウジングを戻します。

対応機器	流量
DEM-3	1.9 L / min

MEMO

- エアレーター取り付け後、水栓の種類によっては止水時に水が一時的に滴る場合があります。



4-4. 電源ケーブル接続

- ①過電圧カテゴリⅢに対応するため、2芯の電源ケーブル全てを確実に遮断するブレーカを内線規程に従って準備します。
- ②①に機器の電気容量に適した太さの屋内配線を配線します。
- ③屋内配線と機器の電源ケーブルをジョイントボックス内で直接接続します。
その際に、配線サイズに適合した燃線用スリーブを使用してください。
- ④機器のアース線を屋内のアース線に直接接続します。

MEMO

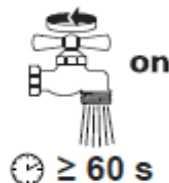
- 付属の電源ケーブル(750mm)は、屋内配線との接続に必要最低限の長さに切断してから屋内配線と接続します。

5. 試運転

①給水接続口のストレーナーの清掃を確認してください。



②機器のブレーカが「切」(OFF)の状態、機器が接続し
てある水栓のお湯側の蛇口を開き、60秒以上気泡が消え
るまで水を流します。

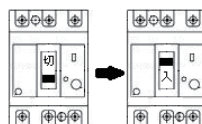


MEMO

●給水の元栓を「閉」にした場合等は、必ず②項を実施して、
機器内部が満水であることを確認してください。

③機器や配管接続口からの水漏れがないことを確認します。

④機器のブレーカを「入」(ON)にします。



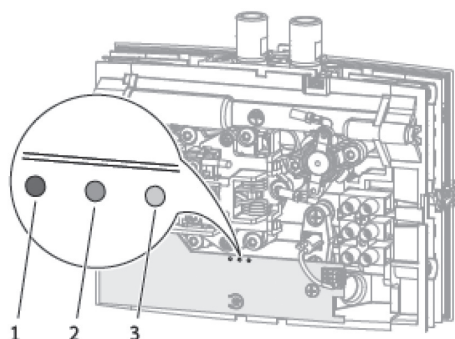
⑤吐水口からお湯が出ること、機器の電流値が正常値である
ことを確認します。

⑥お湯にならない、お湯がぬるい等の場合は、下記を参照してください。

事 象	点検箇所	参照ページ／項目
お湯にならない	ストレーナーが詰まっていないか確認してください。	P.19 / 5
	機器が動作する最低必要水圧(流動時)、最小流量を下回っていないか確認してください。	P.7 / 8
	機器への給水弁が閉じていないか確認してください。	—
	機器のヒーターの電流値を確認してください。	P.14 / 3
	機器の圧力スイッチが切れていないか確認してください。	P.20 MEMO
	機器のブレーカが「入」(ON)であることを確認してください。	—
お湯がぬるい	流量が多すぎないか確認してください。 多い場合は、最小流量以下にならない範囲で流量を調整してくだ さい。 給湯温度上限設定が、低く設定されていないか確認してください。 低い場合は、設定を高くしてください。	P.7 / 8

⑦基板上のLEDライトについて

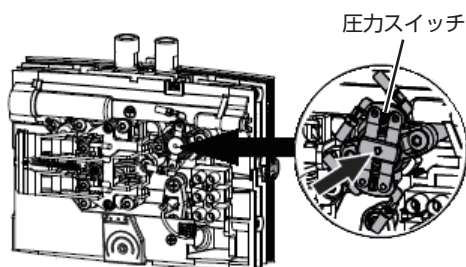
- 1：赤色点灯＝機器の異常
- 2：黄色点灯＝ヒーター通電中
- 3：緑色点滅＝200V電源が投入されている



 MEMO

●圧力スイッチ

異常な圧力を検知した場合に働きます。機器のブレーカを「切」(OFF)にした状態で、圧力スイッチの中央(矢印の位置)を押してください。



保証書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて下記型名の機器の無料修理を行なうことをお約束するものです。当該機器以外の機器類は、修理の対象といたしません。お取付け日から1年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、日本スティーベル（株）にお問い合わせください。

お客様	フリガナ			型 名	DEM-3
	お名前				
お取扱い店	社名	印	取扱者	製造番号	— —
	〒		印		
	住所				
	電話（	）	—	保証期間	製 品
お取付け日	年	月	日	お取付け日から1年	

機器はお取付け日から1ヶ年保証です。

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、お取付け年月日、お取扱い店名、製造番号の記載、並びに取扱者印の捺印があることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

（無料修理規定）

- お引渡しの仕様条件で取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、日本スティーベル（株）にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。
「お取付け日」の記載がない場合、日本スティーベル（株）の出荷記録に基づいて、出荷日を「お取付け日」として起算します。
- ご転居等、お取付け場所を移動する場合は、予め日本スティーベル（株）にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - 修理、または交換を必要とする不具合部品を交換せずに継続して使用した場合。
 - 使用上の不注意、過失による不具合、及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - お取付け後の移設、及び取付説明書に基づいたお取付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害、腐食性ガス害等の有害ガス、塩害、異常電圧、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、及びその他の外部要因による故障、及び損傷の場合。
 - 指定外の電源（電圧・周波数）で使用した場合の故障や損傷。
 - 一般の建物以外（例えば車庫・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設）等で使用された場合の故障や損傷。
 - 砂、さび、ごみ、及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。
 - 消耗部品の交換、及び保守等の費用。
 - 本書の提示が無い場合、お客様名、お取扱い店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 以下の場合に生じた費用、及び代金は、本書による無料保証の対象にはなりません。
 - 理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。
 - 機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

SNS、Youtubeチャンネルのご案内

新製品紹介、お役立ち情報等を配信しています。フォロー、いいね！チャンネル登録を宜しくお願い致します。



@nihonstiebel

製品のご案内、ご採用事例の紹介等



日本スティーベル (Nihon Stiebel)

製品のご案内、ご採用事例の紹介等



日本スティーベル株式会社

機器の設定、お手入れ、施工動画等
ご利用者様へのインタビュー動画等



STIEBEL ELTRON

<https://www.stiebel-eltron.co.jp>

製品一覧、会社概要、カタログ、取扱取付説明
書、仕様図のダウンロード



日本スティーベル株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川1丁目9番2号
TOKYO Y.Bビル 2階

TEL: 03-5715-4655

(営業時間外・土日・祝日及び特定休業日を除く)

■製造者 **STIEBEL ELTRON**

機器の仕様、外観、及び価格は、予告なく変更する場合があります。

本書の内容、所在地、電話番号は、予告なく変更になることがありますので予めご了承ください。

商品コード
355367

T4230901
20250822C